

こうほう



Kouhou
Sarabetsu

らべつ

2010

1

No. 568



村長・村議会議員 年頭のご挨拶



更別村長 岡出 誠司

協働の 村づくりを 推進

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、それぞれご健にて輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げますと共に、日頃より村がめざす「いつまでも住み続けたいまち」づくりに多大なるご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

昨年は近年にない悪天候の年でありましたが、農業者の皆様をはじめ関係機関各位のご努力により被害が最小限に食い止められ、あらためて更別農業の営農技術の高さ、力強さを実感いたしました。今年は天候にも恵まれ豊作の年となりますよう心より願っております。

昨年は「政権交代の年」でもありました。新たな政権は徹底した行政の無駄廃除を重点に政策を展開しておりますが、村においても常に事務事業の点検と見直しを行い、皆様に「無駄」と指摘されることのないよう努めていきたいと考えております。

私は常々厳しい環境にあった更別を代々のご苦労の末、今日の村の姿、農業を中心とした素晴らしい地域にしてくださった

皆様に対し、深く感謝しておりますと共に広く自慢申し上げているところでもあります。新年にあたり、この地域を守り一層発展させ、後世に引き継いでいかなければならないと決意を新たにしております。

今年は、安心して暮らせる村づくりに向け教育や保健・福祉・医療のソフト面での充実と市街地活性化の取り組み、大型公共事業として継続事業の国営かんがい排水事業や道営農業基盤整備事業、高規格道路帯広・広尾自動車道の整備促進に努めていきたいと思っております。しかしながら地方を取り巻く環境は国の財政状況からもご承知のとおり一段と厳しさを増していることから、自分たちの地域は自らを守るという地方自治の原点「協働の村づくり」を皆様のお力添えを賜りながら一層推進を図ってまいりたいと思っております。

本年もご支援とご協力をお願いいたしますと共に、皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

将来にわたり 住み続けたい 更別村に



更別村議会議長 木山 幸則

新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は政権交代という一大変革があり、これを契機に社会制度のさまざまな改革が検討され本年はその具体策が次々と打ち出されるものと思われませんが、行政刷新会議、事業仕分けでの事業廃止や予算削減などによる地方への影響は多分に予想されるところでございます。昨年本村では基幹産業の農業が春先から続いた異常気象、特に6月からの長雨に災いされ小麦の製品率低下が著しく、その他の作物にも影響が及び全体的に収量が低迷した一方、肥料高騰などで農業者自身の経費削減の努力も叶わぬ出来秋となり、未だ残る排水不良農地の早期対策の必要性を痛感した年でもありました。

また、道内唯一の国際サーキット場である十勝モーターパークが自己破産し、東京のIT関連企業への売却による事業存続が決定しておりますが、地元により密着した堅実なレース場と

して運営されることを切に望んでおります。

一方、村では次世代を担う多くの子どもたちが文化やスポーツなどの分野で顕著な実績を挙げております。更別農業高校では地場産品のスモモを活用した商品開発の実績が評価されており、今後も幼・保・学校との連携を深めて豊かな人間性を育んでいく「ひとづくり」の大切さを今一度再認識しております。

本村は今年、第5期総合計画の3年目を迎えます。将来にわたり誰もが住み続けたいと思えるまちづくりのため、村の課題を「保つもの」「減らすもの」「増やすもの」に整理し、広域的な連携を強化しながら事業を積極的に推進していくことを進むべき方向と位置付けております。

新年にあたり私たち議員は、日頃の研鑽を怠ることなく、適正な議会運営ならびに積極的な議員活動に努めていくつもりであります。皆様におかれましても実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



■事務室 24.05㎡
ホール対面のカウンターを備えた事務室です。



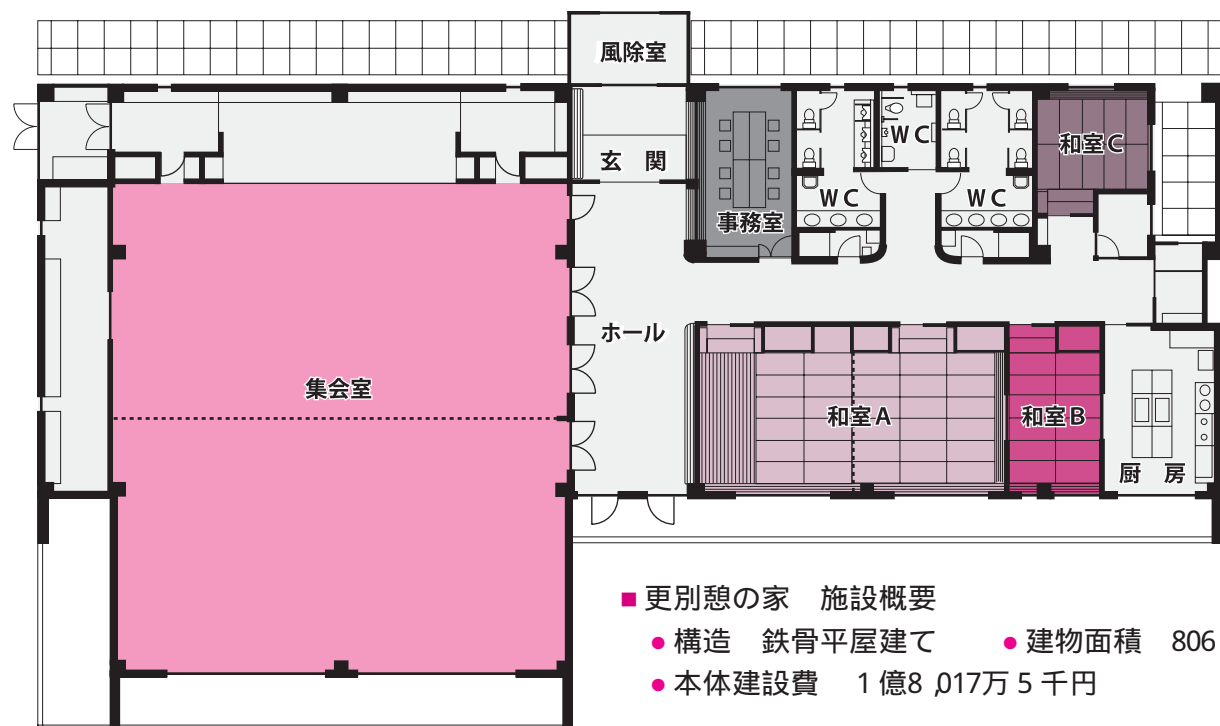
■和室C 20.07㎡(踏み込み部分を含む)
会合などに使用出来る10帖の和室です。



■厨房 29.23㎡
ガスコンロ4台、ガス炊飯器2台を備えた調理スペースです。



新しい更別憩の家 12月20日供用開始



- 更別憩の家 施設概要
- 構造 鉄骨平屋建て
 - 建物面積 806.73㎡
 - 本体建設費 1億8,017万5千円



■集会室 364.44㎡
会議や葬祭などに使用出来るスペースで、およそ400脚のイスを並べることが出来ます。



■和室A 76.05㎡(押入れなどを含む)
法要や会合などに使用出来る30帖の和室です。



■和室B 23.40㎡(押入れなどを含む)
会合などに使用出来る12帖の和室です。

ご協力をお願いします

旧憩の家の建物を取り壊し整地を終えるおおむね6月末までの間、駐車スペースが手狭になりご不便をお掛けします。
葬儀などの場合には車の乗り合いを利用していただくなど、皆さんのご協力をお願いします。

■更別憩の家使用料一覧表

区 分	単位	使用料(円)	
		夏 (5~10月)	冬 (11~4月)
集会室	1時間	700	840
和室A		340	410
和室B		150	180
和室C		150	180
事務室		190	230
全館 (葬儀時の集会室全面使用)	1回	35,020	42,090
全館 (葬儀時の集会室半面使用)		26,270	31,590

使用料の額は、1時間あたりの使用料に使用時間数を乗じて得た額とし、1時間を超えて使用する場合は、30分未満の端数を切り捨て、30分以上の端数は切り上げた時間を使用時間とします。
準備や後片付けの時間は使用時間に含みます。
営利を目的として使用する場合は、使用料の3倍の額をお支払いいただきます。
全館の使用料は、葬儀で引き続き翌日まで使用する場合に限り適用します。

更別憩の家が、およそ2億4,000万円の総事業費により平成21年12月20日に供用開始しました。
更別憩の家は、昭和50年10月に地域の老人クラブ活動の場として工事費2,135万円で建設した「老人憩の家」を昭和59年7月に一部増築し現在の名称に改めたもので、これまで葬儀や法要をはじめ地域の集会場として利用されてきましたが、建物の老朽化や狭あいなどに対応するため平成20年度に設計を行い、平成21年度において本体工事に着手。平成22年度に一

部の外構工事を行うこととし、収容人員408人、建物面積806.73平方メートルの新たな更別憩の家として完成しました。
新しい憩の家は、これまでの建物と隣り合う場所に建てられており、施設内には靴のまま入ることができ、およそ400脚のイスを並べられる集会室が設けられています。
施設使用を希望の方は、役場住民生活課窓口へ備え置き申請書でお申し込みください。

お問い合わせ 役場住民生活課 ☎52-2112

長年のご功績をたたえて

秋の叙勲 文部科学大臣表彰 北海道善行賞

瑞宝単光章

佐藤 功さん（上更別区）



平成21年秋の叙勲で、上更別区の佐藤功さんが地域の消防団で防火などに尽力された長年のご功績を認められ、瑞宝単光章の叙勲を受賞。12月8日に伝達式が執り行われ、十勝支庁地域振興部松村博宣部長から勲記などが手渡されました。佐藤さんは昭和32年に上更別消防団に入団。更別消防団副団長などを歴任され平成15年の退任まで消火活動や防火啓発の推進などに取り組まれました。伝達式で佐藤さんは、「自身の経験を振り返りながら若い世代の消防団員に向は、思いがけない状況に対応するために、何よりも訓練が大切」と話され、このたびの受章に「皆さんのおかげで身に余る栄誉に浴することが出来ました」と喜びを話してくださいました。



佐藤さんは表彰は支えてくださった大勢の方々のおかげ、このような立派な賞をいただき心から感激しております」と受賞の喜びを話してくださいました。

文部科学大臣表彰

社会教育功労者表彰

佐藤 光一さん（勢雄区）

村の社会教育委員などを長年にわたり務められ、社会教育行政をはじめ村の文化活動などに多大な貢献をされた勢雄区の佐藤光一さんが社会教育功労者として文部科学大臣表彰を受賞。12月10日に伝達式が執り行われ、渡辺正男教育委員長から表彰状が手渡されました。

佐藤さんは昭和60年に村社会教育委員に就任。平成19年の退任までの間社会教育委員長などの要職を歴任され、村の社会教育計画の策定などで中心的な役割を担われたほか、北海道社会教育委員連絡協議会においても検討委員を務められ、北海道全体の社会教育振興に尽力されました。

北海道善行賞

身体障害者自立更生者 小島 芳子さん（本町）

身体障害者自立更生支援者 七海 保美さん（昭和区）



表彰状を贈られた小島芳子さん



自立更生支援者の七海保美さん

身体障害を克服し自立に努められた方や、自立の手助けを長年にわたり続けてこられた皆さんなどに贈られる北海道善行賞を村のお二人の方が受賞されました。本町で鍼灸・按摩マッサージ治療院を営む小島芳子さんは、視力に障害をお持ちながら自立に努められたご功績が、昭和区にお住まいの七海保美さんは身体障害者福祉協会の役員として身体に障害をお持ちの皆さんの支援に貢献されたご功績がそれぞれ認められ、このほど表彰状が伝達されました。

行政区長会議を開催

12月7日に今年度3回目の行政区長会議が開催され、平成22年度の主な事業予定などの案件について村内の行政区からお集まりの各区長24名の皆さんに岡出村長やそれぞれの担当課長から説明が行われました。



ついで破産管財人の判断を待ちたいと述べました。

このほか、除雪作業の内容や行政区懇談会実施の予定などが伝えられ、行政区長の皆さんからは協働活動のうち複数の行政区が行う取り組みで円滑な連携が図られるよう要望が述べられるなど活発な意見が交わされました。会議に引き続き行政区長の皆さんは供用開始目前の更別憩の家を視察。収容人員など大幅に拡充した施設内部を見て回り、維持管理の方法などについて質問を寄せていました。



2010 世界農林業センサス

ご協力ください

お問い合わせ
役場住民生活課
☎52-2112

今年度は農林業経営体の調査を行う農林業センサスの実施年度です。農林業センサスは、我が国の農林業や農山村地域の実態を明らかにすることを目的に全国の農林業を営むすべての皆さんを対象に5年ごと行うもので、国や地方自治体が行う農林行政の企画立案や各種統計の基礎となる大切な調査です。

1 調査の期日は？

調査は平成22年2月1日現在で行われます。

2 調査の方法は？

村内を15の集落に分け、知事から任命された18名の調査員が該当になる世帯や組織を訪問し調査票を配布。記入いただいた調査票の回収に伺います。

3 調査の対象は？

次に該当する世帯や組織です。

- 1 経営耕地面積が30アール以上の農業を営むもの
- 2 経営耕地面積が30アール以下であっても家畜の飼養頭羽数などが一定規模以上の農業を営むもの
- 3 農業サービス（農作業の受託や選果選別など）の事業を営むもの
- 4 保有山林面積が3ヘクタール以上で2010年を計画期間に含む森林施業計画を作成しているもの
- 5 保有山林面積が3ヘクタール以上で調査期日前の5年間に継続して林業作業を行ったもの
- 6 委託を受けて育林を行ったもの
- 7 委託を受けてまたは山林を購入して素材生産を行い、過去1年間の素材生産量が200立方メートル以上であるもの



安全宣言を読み上げる大道さん(左)

今年で46回目となる村総合文化祭、芸能発表会実行委員会主催)が社会福祉センターで開催。村内のサークルで活動する皆さんや村の子どもたちおよそ450名が詰め掛け歌や踊り、遊戯や合唱などの演目を披露しました。

開会式では穴戸功治実行委員長が「練習の成果を存分に発揮され、良い思い出を作ってください」と挨拶を述べ、末広学級生のカラオケで幕開け。大正琴サークルで練習に励む皆さんの息の合った演奏や可愛い子どもたちのバトンの演技、会場いっぱいに繰り上げられるダンスや自慢のどで歌い上げられる道内や全国各地の民謡など、日頃から練習に努めた皆さんの発表に会場から盛んな拍手が送られました。

12/3

除雪作業の安全を願う

村道の維持管理業務に携わる村内の事業所で組織する道路維持連絡協議会(廣瀬英明会長)が社会福祉センターで安全大会を開催。本格的な除雪シーズンを前に、作業に携わる同協議会の会員の皆さん29名が労働・交通安全の撲滅を願い、災害ゼロの達成に向け決意を固めました。

今年で6回目となる同大会で廣瀬会長は、協議会設立後今まで何事もなく作業が行われている。安全とは何かという原点に戻り作業を進めていってほしいと挨拶。帯広警察署更別駐在所の長田敏幸所長が講話を行い、除雪車を運転する際に注意すべき点などを述べました。

参加者を代表して北央道路工業(株)にお勤めの大道孝宣さんが安全宣言を読み上げ、参加者全員で作業の安全などの決意を誓いました。

12/1

練習の成果を存分に発揮



大正琴サークルの皆さんの演奏

尺八で歌謡曲を奏でたお二人の演奏では会場の皆さんが思わず歌詞を口ずさみながら笑顔。発表会では舞台と会場が心を通わす楽しいひとときになりました。



健やかクラブの皆さんのダンス「シングルベル」



民謡友の会の皆さんが歌う「真室川音頭」

尺八で歌謡曲を奏でたお二人の演奏では会場の皆さんが思わず歌詞を口ずさみながら笑顔。発表会では舞台と会場が心を通わす楽しいひとときになりました。

更別幼稚園の園児たちが、園の畑で今年育てたイモやカボチャを使いクッキングに挑戦。春に植え付けを手助けしてくれた農協青年部鹿熊智幸部長(左)の皆さんを招き、村の大地のめぐみと一緒に味わいました。

園児たちは、同部の皆さんに喜んで食べてもらおうと小さな手で丁寧に皮をむき、サンドイッチの具になるポテトサラダやカボチャを加えたクリームシチューを下ごしらえ。園児たちは訪れた11名の部員の皆さんと一緒にポテトサラダをパンに詰め込んでサンドイッチを完成させました。

鹿熊部長と一緒に植えた野菜を食べることが出来て嬉しいとお礼



「浜辺のうた」では波の効果音が加わりました

本格的な器楽演奏に親子で触れる機会になればと、更別小学校のPTA研修部などが活動の一環に国内外で演奏活動をしているマリンバ・パ

12/8 収穫野菜と一緒に



「あのね、こうやってパンに挟むんだよ」

を述べた後、一同揃っていただきまずのご挨拶。園児たちはサンドイッチをほおばりながら部員の皆さんの笑顔を见上げ、みんなで作ったんだよと得意気に話していました。

12/6 親子で聞くマリンバの音色

「カッション奏者、笹井由香さんを招いた演奏会を開催。児童たちが授業参観で訪れた保護者の皆さんと一緒にマリンバが織りなす豊かな音色に聞き入りました。

同校の高木修一PTA会長の挨拶に続き早速演奏会が始められ、紹介された笹井さんがマリンバは「木琴のお化け」と覚えてくださいと笑顔で話し、浜辺のうた」といった一度は耳にしたことがある曲の数々を演奏しました。

行進曲「アメリカンパトロール」では会場の皆さん全員が拍手で演奏に参加。マリンバの音色を通じ親子の想い出に残る楽しい演奏会になりました。



上更別小学校で授業参観に合わせ「親子もちつき大会」が行われ、児童たちが保護者の皆さんと力を合わせてモチをつきました。

村の冬の夜を彩る風物詩ときめきイルミネーションの点灯式が役場車両センター駐車場で催され、色とりどりの電球が夜空を照らす瞬間を間近に見ようと、子どもたちや地域の皆さんで賑わいました。

今年はおおよそ1万7千個の電球が役場前通り沿いの農村公園から国道までの間に立つ木々に飾り付けられ、集まった子どもたちは点灯までの間を手渡された暖かい飲み物などで体を温めながらキャンドルづくりなどを楽しみました。

青や黄色などの電球が一斉に灯ると早くも木々の下に駆け寄った子どもたちから歓声が上がり、皆さんは寒さを忘れて柔らかな光に魅入っていました。

12/4 カいっばいおモチつき

「一生懸命モチ米をついて、おいしいモチを作ってください」と話す鈴木信男校長の挨拶に続き、18名の保護者の皆さんが炊き上げたホカホカのモチ米を3台のウスに放り入れると準備が完了。班で分かれた児童たちがわっせガンバなどの掛け声に合わせて、身の丈ほどある杵を力いっぱい振り下ろしていました。

最後の仕上げにと杵を手渡された6年生が一層力強く腕を振るってモチが完成。児童たちは食べやすい大きさに丸めたモチを砂糖醤油やきな粉などで味付けすると、手助けしてくれた保護者の皆さんと笑顔でほおばり、出来立てならではの柔らかい食感を堪能していました。

12/1 イルミネーション点灯式



いる様子。訪れる皆さんを魅了するときめきイルミネーションは2月7日までの期間、午後5時から午後10時まで連日点灯しています。

どんぐり保育園で恒例のクリスマス会が催され、同園に通う子どもたちがご家族の皆さんと共に一足早いクリスマスを楽しみました。

集まった園児や保護者の方々などおよそ180名の皆さんを前に高畑昭子園長が今日はサンタさんが来てくれますよと笑顔で挨拶し、園児たちが歌うクリスマスソングで会がスタート。管内の福祉施設で慰問活動など行っている帯広市の山口和子さんが招かれ、得意の腹話術や手品、操り人形のダンスなどを披露し子どもたちの目を釘付けにしました。

いよいよお待ちかねのサンタクロースが登場すると園児たちは身を乗り出して大喜び。子どもたちは目の前でクリスマスカードなどの贈り物を差し出すサンタさんに満面の笑顔をみせながら、ありがとうと元氣にお礼の言葉を返していました。



12/12

一足早くクリスマス

保育園・学童保育所

入所受付を開始します

募集期間 平成22年 1月8日(金)~22(金)

平成22年度の保育園、学童保育所の入所申し込みを行います。入所を希望される方は、保健福祉課で申し込みの手続きをしてください。申請書類は保健福祉課窓口で配布します。

申請受理後、入所基準適合の有無を確認し2月下旬頃に結果を通知します。(結果通知前に面接を行う場合があります)

定員を超える申し込みがあった場合は、選考により優先順位をつけさせていただきます。

ど ん ぐ り 保 育 園

定 員

45名 0 ~ 6 歳(幼稚園児を除く)

入所基準

保護者が次の①から⑦のいずれかに該当する場合は入所することが出来ます。

①居宅外労働をしている / ②居宅内労働をしている / ③母親が妊娠あるいは出産をしたばかりである / ④病気、障害を有している / ⑤長期療養をしている同居親族の介護・看護などにあたっている / ⑥家庭で災害の復旧をしている / ⑦そのほか① ~ ⑥に類すると村が認めた場合

保 育 料

保育料は、4月中旬頃に決定し通知します。

学 童 保 育 所

定 員

約50名 小学1 ~ 3年生

入所基準

保護者が次の①から⑦のいずれかに該当する場合は入所することが出来ます。

①居宅外労働をしている / ②居宅内労働をしている / ③母親が妊娠あるいは出産をしたばかりである / ④病気、障害を有している / ⑤長期療養をしている同居親族の介護・看護などにあたっている / ⑥家庭で災害の復旧をしている / ⑦そのほか① ~ ⑥に類すると村が認めた場合

保 育 料

保育料は月額5,000円です。そのほかおやつ代・教材費・傷害保険料などが必要です。

申込手続

保育所入所申込書のほか次の書類が必要です。

- ①家庭実態調査表
- ②税調査の同意書
- ③平成21年分の源泉徴収票の写しもしくは平成21年分確定申告書(控)の写し
- ④雇用(見込)証明書
同一世帯で平成22年4月1日現在、働く予定の方全員分
- ⑤妊娠・出産により入所を希望される場合は母子手帳の写し
- ⑥病気・介護・看護により入所を希望される場合は医師の診断書など
- ⑦育児休業中で上のお子さんの保育を希望される場合は育児休業取得を証明出来るもの(申し込みが多い場合は入所出来ないことがあります)

申込手続

学童保育所入所申込書のほか次の書類が必要です。

- ①家庭実態調査表
- ②雇用(見込)証明書
同一世帯で平成22年4月1日現在、働く予定の方全員分
- ③妊娠・出産により入所を希望される場合は母子手帳の写し
- ④病気・介護・看護により入所を希望される場合は医師の診断書など
- ⑤育児休業中で上のお子さんの保育を希望される場合は育児休業取得を証明出来るもの(申し込みが多い場合は入所出来ないことがあります)

申し込み・問い合わせ

役場保健福祉課(福祉の里総合センター内)

☎53 - 3000

INFORMATION

Kouhou
Sarabetsu

インフォメーション こうほう さらべつ

お知らせ

普通救命講習を 開催します

南十勝消防事務組合更別支署では、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の取り扱い、異物除去法や止血法などを3時間の講習で学んでいただく「普通救命講習Ⅰ」を開催します。もしものときにお役に立ちますので、この機会にぜひ受講ください。

- 日 時
2月2日(火)午後1時~午後4時
- 場 所
更別支署2階和室
- 定 員
先着20名
- 申込期限
1月27日(水)午後5時15分まで
- 申し込み・問い合わせ
南十勝消防事務組合更別支署
☎52 - 2201



不審者などを見かけたら すぐに警察へ通報を

帯広警察署管内の空き巣被害は、10月末現在で144件、昨年と同じ時期に比べ42件増加し、施錠されていない窓やベランダから侵入する手口で多くの被害が報告されています。施錠することはもちろん、補助錠の取り付けや防犯フィルム、センサーライトなどの防犯器材を活用することで被害を未然に防ぎましょう。

一方、帯広警察署管内の振り込み詐欺の被害は6件、被害総額は635万円で昨年より減少しているものの管内では依然として不審な電話や架空請求ハガキが報告されています。振り込みを求める電話には一人で判断せずに必ずご家族や警察にご相談ください。また、利用者からの送金を条件とする融資は「融資保証金詐欺」の疑いがあります。身に覚えのない請求も送金や相手への連絡をせずに、まずは警察にご相談ください。

- 問い合わせ
帯広警察署生活安全課 ☎25 - 0110

後期高齢者医療制度 住民説明会を開催

北海道後期高齢者医療広域連合では、制度の内容や平成22年度からの新しい保険料率に関する住民説明会を開催します。年齢に関わらずどなたでも参加出来ますので、お気軽に参加ください。

- 日 時
1月14日(木)午後2時~午後4時
- 場 所
とかちプラザ
帯広市西4条南13丁目1番地
- 申し込みなど
申し込みは必要ありませんが、会場が定員になり次第、入場を制限することがあります。
- 問い合わせ
北海道後期高齢者医療広域連合
☎011-290-5601

ご相談ください 「みんなの人権110番」

釧路地方法務局と釧路人権擁護委員連合会では、より実効的な人権救済を図ることを目的に12月から人権相談ダイヤルを全道で統一し「みんなの人権110番」を開設しました。この番号は発信地域の最寄りの法務局につながり、人権擁護委員または法務局職員が相談をお受けします。相談は無料で秘密は堅く守られますのでご利用ください。

- 相談ダイヤル ☎(0570)003-110

募集

北海道消費生活モニター を募集します

道内の消費生活に関する意見・要望や生活必需品の供給と価格動向を把握

し、消費生活の安定と向上を図るため、北海道では平成22年度消費生活モニターを募集しています。

- モニターの職務
生活必需品の価格、出回り状況の月例調査
商品・サービスへの調査や必要に応じたアンケート調査
- モニターの任期
平成22年4月1日~
平成23年3月31日
- 募集人員 1名
- 謝 礼 月額2,000円(予定)
- 申し込み期限 2月10日(水)
- 申し込み・問い合わせ
役場産業課 ☎52 - 2115

税

お知らせください 家屋の異動

次のような場合には役場へお知らせください。

固定資産税を課税されている家屋を取り壊したとき
家屋を新築・増改築したとき
床面積20平方メートル以上で、一定程度の壁がある建物(車庫・物置などを含みます)の新築などをご予定の場合や、新築・増改築などをされた方のうち、家屋評価に伺っていない場合
未登記の家屋を売買、贈与したとき

- 連絡・問い合わせ
役場住民生活課 ☎52 - 2112

固定資産税第4期 納期限は2月1日(月)

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

- 問い合わせ
役場住民生活課 ☎52 - 2112

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。(ハガキは3カ月ごとに広報紙へ折込しています。ご利用ください) 役場住民生活課

ときめき夢民塾 冬期「夢民講座」再募集

申し込み期限
1月7日(木)

ときめき夢民塾の冬期「夢民講座」の一部講座に定員の空きがあります。1月以降に開催の5講座の受講を希望される方は、1月7日(木)までに教育委員会事務局までお申し込みください。

申し込みは電話がファックスでお名前、ご住所、電話番号、希望講座をお知らせいただくことで出来ます。

講座名	講師	日程	時間	会場	受講料	教材費
イタリア 家庭料理 自宅で簡単に出来る イタリア料理を紹介	アンダーソン・ ブライアンさん (更別村)	2月 2日・23日 (いずれも火曜日)	午後6時30分 ～ 午後8時	農村環境 改善センター 調理実習室	1,000円	毎回 500円程度
家計の見直し術と ライフプラン作り あなたの暮らしを見 直すお手伝いに	中谷 俊雄さん (帯広市)	1月 13日・20日・27日 2月 3日・10日・17日 (いずれも水曜日)	午後6時30分 ～ 午後8時30分	農村環境 改善センター 視聴覚室		初回分のみ 500円
おいしく作ろう 簡単家庭料理 残り物食材が簡単手 料理に大変身	梅安 信子さん (帯広市)	1月 14日・28日 2月 18日 3月 4日 (いずれも木曜日)	午前11時 ～ 午後1時	ふるさと館 食品加工研修室	2,000円	毎回 1,000円程度
楽しい お菓子作り 楽しく手軽にお菓子 作りが出来ます	梅安 信子さん (帯広市)	1月 21日 2月 4日・25日 3月 18日 (いずれも木曜日)	午前11時 ～ 午後1時	ふるさと館 食品加工研修室	5つの講座 の受講料は すべて第1 回目の会場 受付でお支 払いいただ きます。	毎回 1,000円程度
体喜操(たいきそう) ヨガ・気功・ダンス複 合の体操で療養法を 学ぼう!	小泉 恵理さん (帯広市)	1月 8日・15日・22日 ・29日 2月 5日・12日 (いずれも金曜日)	午後7時 ～ 午後9時	農村環境 改善センター 研修室C		無 料

「知っ得」 パソコン講座 開催中!

パソコンに興味のある方、操作方法などを学びたい方、素朴な疑問をお持ちの方など、気軽にお越しください。

講座名 何でもパソコン相談所
講師 鹿内鉄也さん
日程 毎月第4火曜日
開設時間 午後3時～午後7時
会場 農村環境改善センター 視聴覚室
相談料 1回につき500円(相談の際に会場でお支払いください)
1回あたりの相談時間は1時間です。

平成22年度 小学校新入学児童
保護者の皆さんへ

平成22年4月に更別村の小学校へ新たに入学される児童は、平成15年4月2日から平成16年4月1日までの間に誕生された村に住民登録があるお子さんで、12月1日現在更別小学校で26名、上更別小学校で2名の皆さんが対象になっています。

教育委員会では、対象児童のいるご家庭へ1月中に入学通知書を送付します。

なお、一定の要件に該当する場合は指定された就学校を変更することが出来ます。ご希望の方は教育委員会事務局へご連絡下さい。

農村環境改善センター 今月の 図書室 おすすめ本

不登校からの出発
田中登志道 / 著

20年以上不登校の児童と向き合い、その家族に関わりあった筆者が待つこと、祈ることの大切さを語ります。



山ちゃんが聞く!
ニュースがもっとよくわかる本
山里亮太・池上彰 / 著

政治の構造、選挙の仕組み、戦争の原因や世界の力関係などをズバリ解説!世界一分かりやすいニュースの解説書です。



12/13 家庭婦人
バレーボール大会

団体
●優勝 緑町
●2位 勢雄シスターズ!
●3位 南更別区
個人
●最優秀選手賞 渡辺みのり(緑町)

12/13 年齢別混合バレー
ボール大会(9人制)

団体
●優勝 南更別区
●2位 旭区A
●3位 旭区B
個人
●最優秀選手賞 川上英幸(南更別区)



おた あや
太田 彩心ちゃん
平成21年1月9日生
曙町



わたもも
渡 百花ちゃん
平成21年1月28日生
平和区

長女あやみです。食事の時間が大好きで、ニコニコしながら手づかみ食べをしています。パパやママの口に食べ物を入れてくれるようにもなりました。これからも元気に成長してほしいです。

宇秋・美香

いつもニコニコ元気な「百花」です。わが家の4匹の犬達とも仲良しで最近では犬を見ながらゲラゲラと1人で笑っています。これからも元気に育ってほしいです。

基文・純奈

更別農業高校



『学校生活について』

1年A組 横洲 和磨
4月に更別農業高等学校に入学して、早くも8カ月が過ぎました。最初はこの学校でうまくやっていけるのか不安で、友達が出来ず戸惑いながら過ごす毎日でしたが、次第に友達もでき徐々に学校に通うのが楽しくなりました。

農業高校には農業クラブ3大行事というものがあり、最初に経験した「意見発表会」では、人前での発表に慣れないため不安でしたが、何とか発表することが出来ました。

二つ目の行事は「技術競技大会」です。これは農業に関する知識を競うもので、40題の問題を制限時間内に答える競技ですが、いろいろと考えているうちに時間が経ち、いつの間にか終わってしまいました。

三つ目は1年間の研究活動を発表する「実績発表大会」です。僕は1年生農業科のグループに所属して主に原稿の作成と発表をしました。全校生徒の前で発表するのはかなりの緊張でしたが、大変良い経験が出来たと思います。

今では学校生活にすっかり



馴染むことができて楽しく過ごせるだけでなく、活動や行動に目的意識を持てるようになってきました。更別農業高校に入学して本当に良かったと思います。

●各講座お申し込み、このページのお問い合わせは... 教育委員会事務局 ☎52-3171 FAX52-3173

各課・施設の電話 → ふるさと館 ☎52-2211 → 老人保健福祉センター ☎53-3500
→ どんぐり公園 ☎52-2406 → 生活支援ハウス ☎52-2233

各課・施設の電話 / メールアドレス → 教育委員会 ☎52-3171 ✉kyoui@sarabetsu.jp
→ 南十勝消防事務組合更別支署 ☎52-2201 ✉syoubou@sarabetsu.jp

今年寅年

2010年は寅年。トラはインドネシアや中国、ロシアなどに生息するネコ科の動物で、干支の動物の中では想像上の生き物である竜(辰)を除き唯一日本に生息しない動物です。

トラはことわざにも数多く登場し、極めて危険な状況をたとえて「虎の尾を踏む」など、強く恐ろしいものの代表として用いられているほか「虎は千里を走り千里を帰る」と言い伝えられているように、一般的に勢いの盛んな様子にたとえられています。

一方でトラは、わが子にかける愛情が深く大切に子どもを守り育てるといわれており、大切にしてお手放さないものを指す「虎の子」や転じてトラの子どもが貴重なものであることから「虎穴に入らずんば虎児を得ず」ということわざがよく知られています。

強く勢いがあり、子どもを大切に守るトラにあやかり、今年のご家族仲良くハツラツと暮らしていきたいものですね。

こうほう



Kouhou Sarabetsu

1

平成22年1月1日発行(No.568)

更別村役場 住民生活課

〒089-1595 北海道河西郡更別村

字更別南1線93番地

☎0155(52)2111(代表) ☎0155(52)2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール(代表) village-ffice@sarabetsu.jp

(村長) seiji-okade@sarabetsu.jp



広報さらべつの新年号を飾る創作表紙のシリーズがスタートして7年目。今年は思案を重ねた末に自作の工作にしました。とはいえ市販の厚紙工作キットを組み立てミニチュアのコマやマリ、凧を並べての撮影です。位置や角度を変えながら撮影しているうちに、ユーモラスなトラの表情を見つけました。

ぼ・こ・り

あけましておめでとうございます。皆様ご家族お揃いで幸多き新年をお迎えのことと思います。

主担当に就いて24回目の発行を無事終え今月号をもって広報主担当の任を離れることとなりました。担当グループ内の役割替えによるもので私はこの先もデスクの役目で広報に携わります。これまでの間、休むことなく発行を続けられたのは、皆様のご支援の賜物。手に取りページを開いてくださる皆さんを思い浮かべることで勤め続けることが出来たと思います。本当にありがとうございます。新しい担当にも温かいご配慮をいただければ幸いです。これからも広報さらべつをよろしく願います。(渡辺)

表紙の風景